

令和7年度セルフ・ガーデンハウス

地域連携推進会議 会議記録

- 1 開催日時 令和8年2月4日（水）午前10時00分より
- 2 場 所 社会福祉法人くちなし セルフ・ガーデンハウス 会議室
- 3 出席者 利用者代表 1名
利用者家族代表 家族会会長 1名
地域の関係者 地元町内会会長 1名
福祉に知見のある方 他社会福祉法人 障害者支援施設 施設長 1名
当施設関係者 3名
- 4 会議内容
 - (1) 開会・挨拶
 - (2) 地域連携推進会議の主旨説明
地域連携推進会議の手引きを引用し、委員に説明した。
 - (3) 構成員の自己紹介
 - (4) セルフ・ガーデンハウスの説明
施設の沿革、名称について、利用者のサービス内容、法人の取組（地域交流など）、職員の働き方について説明をし、経営状況報告は経営指標を用いて、全国平均数値と当施設会計の比較などを説明した。BCP策定状況、虐待・事故・ヒヤリハット、利用者の意向アンケートについては、今までに作成した資料（感染症BCP、自然災害BCP、ヒヤリハット分析、職員セルフチェックリスト、意向アンケートまとめ）を確認した。
 - (5) 施設見学
20分程度 アリーナ・テラス・トイレ・居室などの生活の場の状況と日中活動での利用者・職員の様子を見学する。
 - (6) 意見交換・感想
地元町内会長
役所に勤めていた当初からセルフ・ガーデンハウスを知っていたが、その頃よりも利用者に対して細やかなより良いサービスを行っているように実感した。町内会の高齢化もあり、活動していく上で困難もある中、福祉施設や町内会、企業、

学校など近隣地域で協力しながら今ある問題を解決していく場が今後作れればと強く望む。

他社会福祉法人 障害者支援施設 施設長

利用者や職員などの雰囲気を見ると日頃の関係の良さなどが滲み出ているように感じる。当施設も高齢化に伴い、1年に1回全員で旅行に行っていたが、現在は障害の重度化に伴い、班分けして行くように切り替えた。セルフ・ガーデンハウスのようにマンツーマンでの個別外出はできるかどうか分からないが努力をしてみたいと思う。また地域交流でもある近隣工業団地企業を招いての普通救命講習は是非ガーデンセブンでも行ってみたいので進め方など色々と教えてほしい。

家族会会長

利用者、家族共に高齢化し、今は行事への協力や土日のレクリエーションの手伝いのみになっていますがこの活動は出来るだけ続けていきたい。また地域で交流する場があれば利用者にとってもとても良いことなので出来る範囲でお手伝いしたい。

利用者代表

会に参加して今まで知らなかったことがたくさんあり、地域の一人としていろいろと協力したいという考えに至った。まずはファミリー会が行っている休日のレクリエーションに参加し協力姿勢を示していきたい。

(7) 閉会